

2014年度 自己評価（園長編）の結果及び改善策

I 「教育内容」についての評価結果及び改善策

全職員は教育内容を共有し、理解するためのミーティングをくり返し行なっていることは大切である。長い年月をかけて培ってきた三つの柱「食育」「こども聖歌隊スマイル」「森のようちえん」は、伝統的に価値ある行事である。改善すべき点は、行事から次の行事へと量の配分とバランスを考慮する必要があります。もう少し、ゆったりとした計画で環境の構成を見直す必要がある。

II 「地域の幼児教育センターとしての役割」についての評価結果及び改善策

子育て支援センターとしての「こども広場スマイル」を会場に、親と子のセンター的な役割を担ってきている。参加人数も増えてきていることを思うと、専任教諭の努力の結果であると思います。
園内の敷地であるが、在園の子ども達との触れ合う機会が少なく、残念に思っています。今後の課題です。

III 「安全管理」についての評価結果及び改善策

築57年の建物です。安全を保つようにはしておりますが、検討する必要があります。
門扉は古い鉄で、当初からのものと思います。凍り付くと開閉が出来なくなり、朝は熱いお湯をかけて溶かし開ける事もたびたびあります。
セキュリティについてはどこからでも入りやすい状態ですので、十分気を付けています。

IV 「人事管理」についての評価結果及び改善策

人事的には、大らかな優しい保育者が多く安心して任せられます。
時間的には、忙しく余裕のない日常です。
何とか量的な配分を考慮する必要があります。

V 「財務管理」についての評価結果及び改善策

公認会計士による監査を受けています。法的整備は十分です。

VI 「評価と情報の公開」についての評価結果及び改善策

ホームページは毎週更新し、毎日の園での様子を発信しています。
行事予定は、毎月と、各クラス便りで伝えていきます。また、手紙や電話で連絡を取り、家庭との連携を密にしております。今後共、引き続き行なっていきます。